

製品名: YTHDF2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87625**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:62 kDa; Observed MW:65 kDa

抗原情報

遺伝子名	YTHDF2
別名	DF2; CAHL; HGRG8; NY-REN-2
遺伝子ID	51441
SwissProt ID	Q9Y5A9
免疫原	ヒト YTHDF2 の合成ペプチド

背景

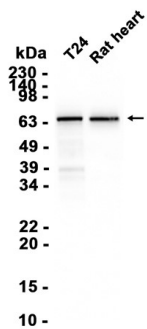
この遺伝子は、YTH ドメインを含む YTH (YT521-B 相同性) スーパーファミリーのメンバーをコードしています。YTH ドメインは真

核生物に典型的であり、特に植物に豊富です。YTH ドメインは通常、タンパク質配列の中央に位置し、RNA への結合に機能する可能性があります。YTH ドメインに加えて、このタンパク質はシグナル伝達に関与する可能性のあるプロリンリッチ領域を有しています。この遺伝子のイントロンの 1 つには Alu リッチドメインが同定されており、これはヒトの長寿と関連していると考えられています。さらに、急性骨髄性白血病患者において、この遺伝子と 21 番染色体上の Runx1 (AML1) 遺伝子との間の相互転座が観察されています。この遺伝子は当初 14 番染色体にマッピングされていましたが、後に偽遺伝子であることが判明しました。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2012 年 10 月]

研究分野

-

画像データ



YTHDF2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、T24 細胞およびラット心臓組織からの抽出物をウェスタンブロット分析しました。